

## モータープーリ取扱説明書

この度は、弊社のモータープーリをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本モータープーリをご使用の際は、正しく安全にお使いいただく為下記の記事にご留意ください。  
又、お読みになった後もお手元におきご活用ください。

### 共通仕様 ● 型式表示

# KMP-A 103-4C-215-380-36 A A A

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

#### ① 協和モータープーリの略

KMPで固定

#### ② 仕様

A 標準	I 24時間仕様	N オールSUS+ブレーキ (PM内蔵)
B ブレーキ (PM内蔵)	J 防水+逆防	P オールSUS+ブレーキ (PM外設)
C ブレーキ (PM外設)	K ブレーキ (PM内蔵) + 防水	S 逆防
D オールSUS	L ブレーキ (PM外設) + 防水	T CE適合品
H 堅牢防水	M オールSUS+逆防	W 防水

#### ③ 出力

2Z=20W~29W	8Z=80W	04=400W	22=2.2kW
3Z=30W~39W	01=100W	10=1.0kW	37=3.7kW
4Z=40W~49W	02=200W	15=1.5kW	(50Hz時の呼称出力を表示)

#### ④ 電源の種類

1: 単相 3: 三相

#### ⑦ プーリ外径

076=φ76 114=φ114 165=φ165 265=φ265  
140=φ140 215=φ215 318=φ318

#### ⑤ モーターの極数

2=2極型 4=4極型 6=6極型

#### ⑧ プーリ幅を表示

単位: mm (φ寸法) 有効ドラム幅はφ寸法より 140φ寸法 -4mm  
短くなります。 165φ寸法 -8mm  
その他φ寸法 -10mm

#### ⑥ 運転定格

C=時間定格 (100%ED)  
※但し8H/1day

#### ⑨ プーリ表面速度を表示

単位: m/min (50Hzにおける呼称速度)

#### ⑩ ライニング・パイプの種類

A=標準 F=5t平ゴム S=10t横筋ゴム Y=その他(中央V溝・ウレタン・SUS・塗装無しetc)  
B=パイプストレート M=マグネットリング W=10tWヘリカルゴム

#### ⑪ モーターの種類と電圧

A=200,200,220V/50,60,60Hz三相 E=415V/50Hz三相 L=440V/60Hz三相  
B=100,100,110V/50,60,60Hz単相 G=380V/60Hz三相 M=460V/60Hz三相  
C=380V/50Hz三相 H=400V/60Hz三相 V=480V/60Hz三相  
D=400V/50Hz三相 J=415V/60Hz三相 Y=その他 (F種絶縁・特殊電圧etc)

#### ⑫ 指定別途仕様

A=標準 B=標準標準 Y=その他 (シャフト特殊・サイドプレートSUS・熱帯通過処理・45度仕様 etc)  
※オールSUS仕様及びドラムSUS仕様は加工の性質上、ドラム表面に黒皮が残る可能性があります、  
使用上の問題はございません。

### ▲ 安全上のご注意

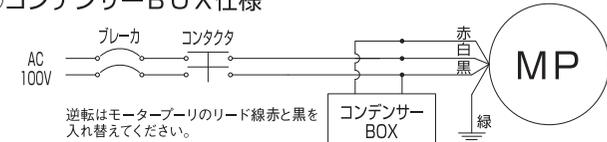
- 電源、電圧、モータープーリ仕様等の確認を行い間違いないように結線を行ってください。
- 屋外での保管、放置等は絶対にしないでください。  
(防水仕様を除く) (防水機能をもっておりませんので漏電、錆等の原因となります)
- 運搬、設置、配線、運転、操作、保守、点検の作業は専門知識のある人が実施してください。
- 爆発性雰囲気中では使用しないでください。爆発、火災の恐れがあります。
- 設置及び交換時は必ず電源を切って作業をしてください。感電の恐れがあります。
- コンベヤ以外の用途で使用しないでください。けが、感電の恐れがあります。

### ■ 基本配線図

#### 1. 単相仕様

##### (1) φ76単相100Vの場合

##### ① コンデンサーBOX仕様

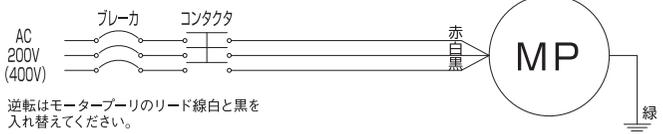


##### ② 始動BOX仕様



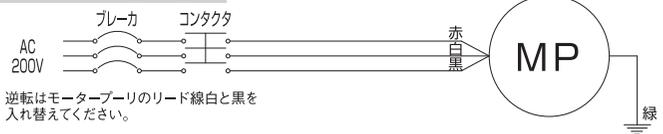
#### 2. 標準仕様

##### (1) 三相200V級の 場合 (400V)

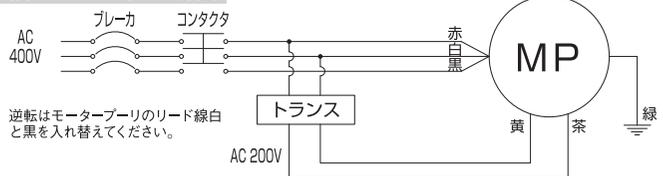


#### 3. ブレーキ仕様 (パワーモジュール内蔵型)

##### (1) 三相200V級の 場合

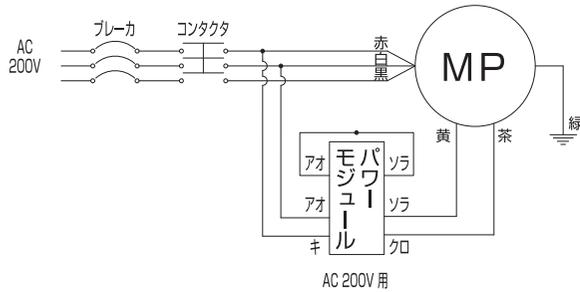


##### (2) 三相400V級の 場合

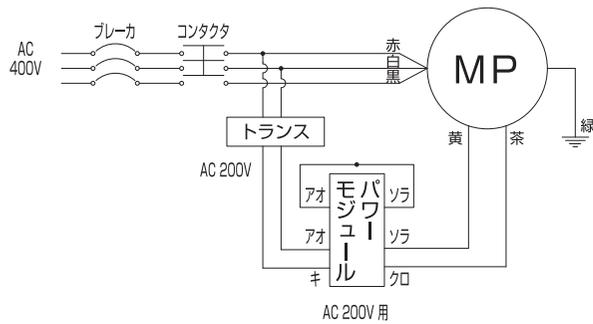


## 4. ブレーキ仕様（パワーモジュール外設型）

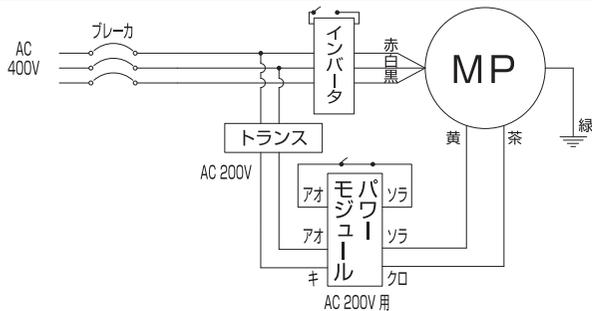
### (1) 三相200V級の場合



### (2) 三相400V級の場合



## 5. インバータ接続の場合の配線例（下図は400V級ブレーキ仕様外設型）



#### 注) インバータ配線時の注意事項

- ①電圧に関わらず、パワーモジュール外設型の場合はパワーモジュールがインバータの影響を受けないよう、上図の様に配線して下さい。
- ②ブレーキ仕様のパワーモジュール内蔵型（400V級ブレーキ仕様の場合は6線出しとなります）についてもインバータの影響を受けないよう、左図を参考に配線して下さい。
- ③標準仕様はパワーモジュール等付属していませんので、電源とモータープーリの間にインバータをご使用ください。

## ■取り扱いについて（納品後直ぐにご使用されない場合）

- ・屋内の清潔で乾燥した、温度、湿度の変化が少ない環境下で水平に保管してください。
- ・保管の際、製品を直接地面に置くことは避け、振動の無い場所で保管してください。
- ・保管環境は、温度-10℃～40℃ 湿度15%～85%の結露無き事とします。
- ・屋外や塵埃、極端な温度変化が有る場所、直射日光のあたる場所、腐食性、爆発性ガスが存在する場所には保管しないでください。
- ・長期間保管されますとモータープーリ内部から油分が分離し流出する可能性がございます。
- ・1ヶ月～2ヶ月程度を目安に必ず慣らし運転を（15分程度）してください。
- ・内部のグリースを潤滑する必要があります。（通電出来ない環境では、手動と同様に慣らし運転をしてください。）
- ・防水仕様（オールSUS仕様を含む）はシール構造の為、標準仕様と比べ流出の可能性は低くなります。

## ■取り扱いについて（ご使用时）

- ※本製品は構造上、内部より油分が漏れ出す恐れがあります。少量の油分の流出による製品寿命への影響などはございませんが、搬送物や周辺機器などに漏れ出た油分が付着する事があります。ご理解いただいたうえでご使用ください。
- ※本製品はシャフト「上」マークを上に向け水平に設置してください。
- 使用開始後も1～2ヶ月程度ご使用されない場合は、同様に定期的な慣らし運転をしてください。
- ・長期保管後にご使用される場合は、運転開始前に油漏れ、オイルシールの劣化、サビ等が無いか必ず点検をしてください。
- ・オイルシールの劣化、キャプタイヤケーブルの劣化、油漏れ、サビ等があった場合は、当該箇所の部品の交換が必要となります。（オイルシールの劣化は水等の侵入、油漏れの可能性がございます。キャプタイヤケーブルの劣化は漏電等の原因になる可能性がございます。蓄積された油漏れ、サビ等は製品への寿命の影響や周囲の物に付着し影響を及ぼす可能性がございます。）
- ・長期保管後に使用される際はご使用される前に、500V絶縁抵抗計で絶縁抵抗を測定し100MΩ以上である事を確認してください。
- ・高度1,000m以下の空気中でご使用ください。
- ・ベルトの張り過ぎは、モータープーリの過負荷や寿命低下などの原因になりますのでご注意ください。

## ■取り扱いについて

- 1.モーター焼損保護の為、ブレーカ等の設置を必ず行ってください。
- 2.CTコードによる持ち運びや、ぶつけたり落としたりしますと内部を傷めることとなりますので十分ご注意ください。又、CTコードの被覆に傷を付けないようご注意ください。
- 3.モータープーリとコンベアベルトのテンションを調整し、蛇行調整を確実に行ってください。
- 4.拘束状態になると即時モーターのコイル焼損につながりますのでご注意ください。
- 5.適応周囲温度-10～40℃、相対湿度15～85%の使用環境でご使用ください。
- 6.インバータを使用される場合は別途お問い合わせください。
- 7.逆転防止仕様につきましては電源接続時、ドラムが回転しない時は直ちにスイッチを切って電源の相を入れ替えてください。
- 8.両シャフトは確実に固定してください。

## ■廃棄処理について

- ◎モータープーリを廃棄する場合は、産業廃棄物として地方自治体の規定に従い処理してください。

## ■保証について

- ◎正常な備え付け、及び正常な取扱いのもとでの保証期間は、出荷日より1年とします。保証期間中、本製品において明らかに当社の責任と認められる故障が生じた場合、代替品の無償提供、また当社工場での修理を無償で行わせていただきます。
- ◎モータープーリを独自に改造しないでください。故障の原因となります。（特殊仕様につきましては、ご相談に応じます）
- ◎点検や定期的な慣らし運転を適切に行わない場合の故障につきましては、保証期間内でも保証対象外となります。
- ◎お客様により製品の分解・改造をされた場合は当社の保証対象外となります。

## ■商品に関するご質問・ご相談は、下記までお問い合わせください。

### 株式会社 協和製作所 産業機器事業部

窪田工場 〒675-2364 兵庫県加西市窪田町570-10  
TEL.0790-42-0601(代) FAX.0790-42-4895

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目14番7号 京橋中央ビル 9階  
TEL.03-5579-9622(代) FAX.03-5579-9633

名古屋営業所 〒465-0024 愛知県名古屋市中東区本郷3-139 ホワイトハウスビル5階  
TEL.052-778-7830(代) FAX.052-778-7831

<URL> <http://www.kyowa-mfg.co.jp>  
<e-mail> [info@kyowa-mfg.co.jp](mailto:info@kyowa-mfg.co.jp)

※製品改良のため、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

TS-022-20180129 R2